

2024年 夏号 2024 7/15 発行

ハティン訪問記

山際 榮一

今回のベトナムの旅は、急な一本の電話と、ひとつの携帯電話番号から始まりました。

東京在住の元支援学生のThaoさんの親がわりの「おじいさんが亡くなった」との電話がすぐ親善協会に相談し、何か力になれればとの思いから協会東京事務所へ、親善協会の力添えで、出発OKに

ハティンでは、おじいさんの葬儀を無事終え数日間色々な行事をハティンでその間ホーチミンに元支援学生が転居している事を思い出し、ダメ元で電話連絡をThaoさんのお姉さんにお願いしましたところ、元支援学生のTimさんの父親と連絡がとれ、「ホーチミンではお会いしたい、自宅に来て下さい」との事、数日後8年ぶりの再会が実現しました。

ハティンからホーチミンへ

その夜の食事時、Timさんの父親から「支援いただきました時は事故で片足を失い生活は非常に困難な状況で親善協会から子供に学資支援をいただいたため退学せずにすみました。感謝しています」と手を握られ胸を熱くしました。

今、Timさんはゲームセンターを2カ所展開する事業を起こし家族の生活は安定しています。困難な時に援助していただいた、恩をお返ししたい、親善協会がハティンでおこなっている学資支援活動に参加協力をとの親子の申し出がありました。



又 Thaoさんのお姉さんから母親が亡くなり中学校を途中退学し、お手伝いさんの仕事でThaoさんの通学費用を負担している時、親善協会の学資支援学生になり妹Thaoは無事高校を卒業し、日本への留学迄可能になり、私達の夢が親善協会の力添えで実現し、感謝しています。

Thaoさんのお姉さんからも受けた恩をお返ししたいので支援活動に参加させていただきたいとの申し出がありました。

帰国後、親善協会に報告し具体的な方法の検討をお願いしました。ハティン地区の支援活動も10年を迎え支援の役割は?と思う事もありましたが、今回の旅で支援学生、家族の皆さんから熱い感謝の気持ちと、受けた恩を形にして返す心温まるお話を聞き、胸が熱くなる旅になりました。

私達の活動がこのような具体的な形になってきました事を会員の皆様に是非お伝えいたしたいと思いつたない文章ですが、JIFA NOWの紙面をお借りしてご報告いたします。

JAPAN INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-19-8新東京ビル10階
TEL & FAX 03-5989-0814 <https://www.word.jifa.org>

ハイフォンASV日本語センター 訪問記

更井さおり

ベトナム ハイフォンにあるASV日本語センターへ出張しました。

ハイフォンは、ベトナムの主要都市の1つで、国内で3番目に大きい港湾都市です。産業、経済、文化、教育、医療などの中心地でもあります。ハノイから東にリムジンバスで約1時間半ほどの距離に位置します。鉄道で行くこともできます。

ASV社は以前からJIFA会長や理事長も訪問したことがあります。繋がりのある会社です。ASV日本語センターでは現在、N5、N3対策コース、中学生コース、子供クラスを提供。今回、私が特に興味があったN3コースと子供コースを見学させていただくことになりました。

まず、N3コースではJLPT N3合格を目指すための短期集中カリキュラムがあります。授業の冒頭はアプリを使用した楽しいクイズ形式で始まり、学生たちはスマートフォンでログインして活発に参加します。ランキングが発表されることでさらに学習意欲が刺激されます。その後は語彙の教科書を使ってテンポよく授業が進みます。N3対策のため、決められたカリキュラムを時間内に進める必要があり、無駄な会話は抑えられています。

クラスの雰囲気は私がハノイで教えている技能実習生のクラスとは異なり、厳しい規律は特に感じず、学習塾のような印象を受けました。授業では、生徒個別に当てて正解を言わせるのではなく、分かった生徒にどんどん発言させ、授業はとてもスピード感のある進行です。

このクラスでは、日本語で直接指導する「直接法」ではなく、ベトナム語での説明が効果的であると感じました。N3学習レベルになるとすでに日常会話程度の日本語は比較的の理解できています。教師がベトナム語でしっかり解説することで文法などをより深く理解できるのだと思います。

また、教師が「漢字を忘れた!」という演出を通じて生徒に漢字の書き方の説明を促す手法にも興味を持ちました。

翌日は、子供コース2つのクラスを見学しました。子供たちは日本語学習を始めたばかりとのことですですが、自己紹介や手遊び歌、色や数字、計算を日本語で説明する課題にとても真剣に取り組んでいました。

子供クラスの教え方は、「文型積み上げ式」の学習スタイルとは異なり、身近な生活の中で使用することから学んでいくやり方が特徴です。例えば、「～が好きです」という表現は、通常の日本語教材（たとえば『みんなの日本語』など）では初級のある程度進んだタイミングで学ぶところが多いと思われますが、子供たちはわずか数回目の学習でこれを理解しています。言葉を楽しみながら必要な表現をどんどん覚えていくスタイルには感心しました。

このようなアプローチが、学習意欲を持続させ、生徒たちが飽きずに学習を進めることにつながるのではないかと思います。

最後は、七イベントを2つのクラス合同で行いました。生徒たちは七夕の意味や天の川を作るゲームを通じて新しい文化を楽しんでいました。このような文化的な体験は、日本への興味を深め、学習意欲を高める助けとなっています。



Ô Ăn Quan ~ホッとひといきベトナム家~

ベトナムフェスティバル2024が、6月1,2日の両日、代々木公園で開催され、約18万人が来場されました。

V52ブースでは、ベトナムの子どもたちに人気のゲーム「Ô Ăn Quan」を通じて、参加者と交流を深めようと、「Ô Ăn Quan ~ホッとひといきベトナム家~」というテーマで出展しました。

ADOVOの同世代学生の協力を得て、大人から子どもまで来場の皆さまと楽しい時を過ごすことができ、各団体の活動も紹介することができました。

ADOVOのほか、(株)PMC、グローバルドリーム財団、社労士法人エミフル、人材アルバ、IEO国際交流団体と協力して出展できたことに感謝申し上げます。



2024年通常総会 開催される

6月26日、通常総会がハイブリッドで開催され、下記の議案について提案があり、討議のうえ全会一致で承認・議決されました。

第1号議案 2023年度事業報告

第2号議案 2023年度決算報告

第3号議案 2024年度事業計画

第4号議案 役員改選について

役員は全員再任され、同日開催された第2回理事会にて伊瀬洋昭が理事長に選任されました。

(議決された報告等はダウンロードできます)

2023年度事業報告、決算報告、役員名簿

ADOVOと連携して無料日本語教室開催

JIFAでは、6月15日から、NPO ADOVOの大学生や高校生のボランティアの皆さんと一緒に、土曜日に無料日本語教室を開講し、主としてマンツーマン方式で、日本で暮らす外国人の日本語教育や生活相談等サポートをはじめました。

お申込み・お問い合わせ



「責任ある外国人労働者受入・多文化共生支援におけるNPOの役割」パネル開催 日本NPO学会研究大会（高崎経済大学）

日本NPO学会第26回研究大会(高崎経済大学)にて6月15日、外国人受入れ・多文化共生支援におけるNPOの役割に関するパネルディスカッションが開催されました。

パネリストとして、ティック・タム・チー氏、ADOVOの松岡柊吾氏、JIFAから伊瀬洋昭氏、モディレータは橋本裕介京都産業科学大学講師が登壇、それぞれの活動を踏まえ報告しました。

6月14日に改正入管法及び育成労働法が成立した直後だけに関心が高いテーマで内容豊かなパネルとなりました。

※資料はJIFA HPからダウンロードできます

第26回日本NPO学会 研究大会 2024.6.15 パネル

責任ある外国人労働者受入・多文化共生支援におけるNPOの役割と今後の課題



モディレーター
橋本裕介



パネリスト
ティック・タム・チー



パネリスト
松岡 柊吾



パネリスト
伊瀬 洋昭



会員・寄付者・支援者 募集しています

一人でも多くの方に会員になっていただき、活動へ参加いただけよう 皆様をお説いてください！

	入会金	年会費(一口)
法人会員	30,000円	30,000円
個人正会員	10,000円	10,000円
個人賛助会員	5,000円	5,000円
学生会員	500円	1,000円

入会・学資支援等申込フォーム



※支援金 学資支援 (1口 10,000円/年・人)
ウクライナ支援 (任意)

会費・支援金等は振込口座をご利用下さい

口座名：特定非営利活動法人 日本国際親善協会

☆ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行 記号10150 普通98253761

☆他の銀行からゆうちょ銀行 店番018 普通9825376

☆三井住友銀行新宿通支店 店番661 普通7274362

認定NPO 日本国際親善協会(JIFA)

〒160-0023 新宿区西新宿1-19-8 新東京ビル10階
TEL & FAX 03-5989-0814 <https://www.word.jifa.org>

